

ごあいさつ

東京芸術大学は、東京美術学校と東京音楽学校が昭和二十四年に新制大学として統合された、わが国唯一の国立の芸術大学です。

東京音楽学校は、明治十二年文部省に音楽取調掛が置かれたのが始めて、明治二十年に東京音楽学校と改称しました。明治二十六年から一時期、東京高等師範学校の附属音楽学校となりましたが、明治三十二年には、再び独立しました。このような経緯がありました。明治二十年には、東京美術学校とともに、文部省直轄学校として、学校体系の中に位置づけられました。創成期の明治から、大正、昭和の時代を歩みましたが、今日にいたる道は、必ずしも平坦なものではありませんでした。時に当った先輩諸氏のご努力によって困難を乗り越えて、多くの人材を養成し、世に優れた音楽家を送り出しました。わが国の芸術分野において、重要な役割を果たしたといえます。

昭和六十二年には、創立百周年を迎え、これを記念して、演奏会などの盛大な事業が行われました。この記念事業の一環として、『東京芸術大学百年史』を刊行することになりました。百年にわたる長い歴史を振り返り、音楽についての研究や教育について記録することは、今後の芸術教育についての発展と充実に極めて有意義なものと考えます。

今回、『演奏会篇第二巻』が刊行されることになりました。この百年史の編纂は、多方面にわたる資料収集など、長期にわたってのご努力やご苦勞は大きいものがあります。百年史にご協力を賜りました関係者の皆様に深甚なる謝意を申し上げます。

平成五年一月

東京芸術大学学長 平山郁夫